

科目	中国語Ⅳ	担当	日下部 直美	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

外国語学習では、単に言葉そのものを覚えるだけでなく、言語表現に現れるその文化やものの考え方、認識の仕方を理解していくことも重要なことと思われる。この授業では、基本的な中国語の構造、表現形式を理解するとともに、中国という国の文化的、歴史的、社会的方面に関しても理解を深めていくことができる。また、前期に引き続き、日常生活で使われる語彙や応用表現を増やしつつ、簡単な雑誌・新聞記事などの教材を用いて、読解力を身につけることを目的とする。また、発音面においても声調を中心に矯正を行い、更なるブラッシュアップを図る。

**【履修注意】**

中国語学習経験が無い者にとって、この授業についていくのはかなりの負担となるため、1年次開講科目「中国語Ⅰ・Ⅱ」と2年次前期開講科目「中国語Ⅲ」を受講していることが望ましい。授業中の私語、携帯操作、居眠りは厳禁。遅刻は20分までとし、遅刻・早退・一時退室した場合は2回で1回の欠席とする。毎回教材を提出し、試験までにチェックを受けて合格すること。

**【評価方法】**

定期試験を70%、平常点(出席率・小テスト・授業に対する積極性等)を30%として評価する。

**【試験について】**

筆記試験を行い、持ち込み不可とする。欠席が6回以上の者は期末試験を受験することができない。再試験対象者の条件: 期末試験を受験していること。

**【予習・復習】**

予習・復習として、単語・本文の意味を確認しながら、発音練習を中心に行うこと。

**【教科書】**

書籍名:『星城大学『中国語Ⅳ』教材テキスト』著者:日下部 直美

**【参考書】**

①書籍名:『中日辞典(第三版)』出版社:小学館 ②書籍名:『講談社 中日辞典(第三版)』出版社:講談社

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	既習内容の復習①(発音中心)	ピンインと既習の単語・表現の復習
2	既習内容の復習②(文法中心)	ピンインと既習の単語・表現の復習
3	新聞記事①	中国国内事情に関する記事①(流行と消費)
4	新聞記事②	中国国内事情に関する記事②(公害対策)
5	新聞記事①、②のまとめ	新聞記事①、②の単語・表現の復習
6	新聞記事③	中国国内事情に関する記事③(一人っ子政策とその緩和)
7	新聞記事④	中国国内事情に関する記事④(ネットショッピングの趨勢)
8	新聞記事③、④のまとめ	新聞記事③、④の単語・表現の復習
9	新聞記事⑤	中国国内事情に関する記事⑤(海外旅行客の増加)
10	新聞記事⑥	中国国内事情に関する記事⑥(大学キャンパスアプリの利用)
11	新聞記事⑤、⑥のまとめ	新聞記事⑤、⑥の単語・表現の復習
12	新聞記事⑦	日本と国際事情に関する記事①(最近の日本の流行語)
13	新聞記事⑧	日本と国際事情に関する記事②(外国人採用枠の増加)
14	新聞記事⑦、⑧のまとめ	新聞記事⑦、⑧の単語・表現の復習
15	新聞記事①～⑧のまとめ	新聞記事①～⑧の単語・表現の復習
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ